

平成29年11月30日

筑紫野市議会議長
横尾 秋洋 様

視察報告者

議員 大石 泰



行政視察報告書

1、視察概要

弘前市「市民参加型まちづくり1%システム支援事業」について
八戸市「八戸ポータルミュージアム」について
八戸市「八戸ブックセンター」について

2、視察日程

平成29年9月26日（火）～28日（木）

3、視察地

- ・弘前市役所
（青森県弘前市大字上白銀町1-1）
- ・八戸市「八戸ポータルミュージアム」
（青森県八戸市三日町11-1）
- ・八戸市「八戸ブックセンター」
（青森県八戸市六日町16-2）

4、視察参加者

横尾秋洋 大石泰 鹿島康生 赤司泰一 下成正一 高原良視
井上剛士 中山雄夫 平嶋正一 原口政信 波多江祐介 計11名

5、日程

9月26日（火）14:30～ 弘前市役所
9月27日（水）13:00～ 「八戸ポータルミュージアム」
9月28日（木）10:00～ 「八戸ブックセンター」

詳細は別紙のとおり



9月26日（火）

◆ 弘前市「市民参加型まちづくり1%システム支援事業」について

対応者：山下文雄議長 議長議会事務局 菊池浩行次長補佐 原子氏

市民共同政策課 中村氏 阿保氏 神氏

弘前市：人口約176千人、約495千世帯、面積524.20km²

特徴的数値：産業就業人口「農業・林業」14.4%（全国平均3.7%）

弘前市は、平成18年2月の市町村合併により新弘前市となった。

「市民参加型まちづくり1%システム支援事業」

1、制度創設の経緯・位置付け

①平成22年市長選（現市長）のマニフェスト

②基本構想・アクションプラン（H22～H25年）

「協働によりまちづくり&地域活動・コミュニティー活動の推進」

2、制度の概要

①市民活動団体（アイディア・努力）＋行政（補助金）

②財源：個人市民税の1%相当額

・H23年度～H24年度6000万円・H25年度～H29年度3000万円

3、実績

平成23年度は44件の応募に始まり、年々件数が増加しH29年は67件の応募となりました。採択事業では「里山の復活」「紫陽花祭り」「地域紹介パンフ制作」「防災活動」「リレーマラソン」など様々な事業実施。市内には6大学や専門学校があり、学生なども巻き込み、また事業成果発表会を実施。



1市2町の合併により弘前市として行政運営を行っている現在、人口減少や高齢化が既に課題となっており、まさに市民との協働での市政運営に取り組まれている。多くの議員からも質疑があり大変貴重な視察となりました。

9月27日（水）

◆八戸市「八戸ポータルミュージアム」

八戸市：人口約233千人、約108千世帯、面積305.54km²

1、施設概要

はっちは、青森県八戸市三日町にある公立文化交流施設。2011年2月11日開業。正式名称は「八戸ポータルミュージアム」であり、略して「HPM」とも呼ばれている。「はっち」は公募による愛称である。施設開館準備の段階では、「八戸市中心市街地地域観光交流施設」と呼ばれていた。

2、施設の役割・目的

地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出す場所。

1 事業の柱

- ①会所場づくり だれでも気楽に立ち寄れる。地域の文化に触れられる。
- ②貸館事業 多目的スペースなど、まちを元気にする活動の支援。
- ③自主事業 賑わい創出、文化芸術、ものづくり、観光分野で、地域資源を活かした活動の展開。

3、館内視察

ガラス張り5階建ての建物で、3階までは吹抜けとなっております。
総合案内では、八戸市の案内やパンフレットなどが全て揃っております。

館内：1F 観光インフォメーション カフェや伝統工芸ショップ

2F 舞台や音響設備がある部屋。展示室やギャラリー

3F 茶会や日本舞踊・楽器等ができるスタジオ

4F 子育てつどい広場 食のスタジオ

5F ワークステーション 長期的創作支援。



9月28日（木）

◆八戸市「八戸ブックセンター」

八戸市：人口約233千人、約108千世帯、面積305.54km²

1、施設概要

八戸ブックセンターでは、提案型・編集型の陳列による本の閲覧スペースの提供と販売、本に関するイベントの開催などを中心に、市内の民間書店や図書館、市民活動と連携しながら、全国で類を見ない、これからの時代にふさわしい本に関する公共サービスを構想し、提供していきます。

また、小さいながらも、豊かな本の出会いを提供するあたらしい施設として、市民のみなさんはもちろん、全国から注目され、多くの人が当市に訪れてみたくなるきっかけとなるような場所へと育てていくことも目指します。

2、事業の経緯「市長の政策公約（抜粋）」

「本のまち八戸」を目指し、赤ちゃんを対象にした「ブックスタート」と小学生を対象とした「ブッククーポン」の配布を行うとともに、書店との連携により、本のセレクトショップ「八戸ブックセンター」を開設します。

3、施設運営の基本方針。

①本を「読む人」を増やす。②本を「書く人」を増やす。③本で「まち」を盛り上げる。

4、施設機能

①セレクト・ブックストア

分野を中心に手に取りやすい配置。気に入った本は購入できる

②読書席

本棚と一体の席や、ドリンクホルダーを設置。飲みながら読書。

③読書会ルーム（視察説明会場）

知識や情報、感情の共有ができる部屋。トークイベントも可能。

④カンズメスペース⑤ギャラリー⑥カウンター

